

大阪PCB廃棄物処理事業だより (No.30)

◎ PCB廃棄物の処理状況について

近畿2府4県のPCB廃棄物の処理状況は、平成24年6月30日現在で、トランス類1,723台、コンデンサ類32,391台、PCB油類531本となっています。

処理状況 対象物	処理実績（登録台数比） ※ 廃棄物個体完了ベース	
	近畿2府4県	大阪市
トランス類	1,723台（53%）	928台（71%）
コンデンサ類	32,391台（49%）	10,577台（87%）
PCB油類	531本（38%）	248本（68%）

※昨年度は、大型のPCB廃棄物は分割された部材の延べ数を集計しておりましたが、本年度は分割前の台数を集計しています。

◎ PCB廃棄物処理事業検討委員会大阪事業部会の開催について

7月9日、第19回PCB廃棄物処理事業検討委員会大阪事業部会（JESCO主催、主査 酒井伸一 京都大学環境科学センター長）をホテルグランヴィア大阪で開催いたしました。



今回は、「①大阪PCB処理施設の操業状況」、「②大阪事業所の処理の見通し（環境省のPCB廃棄物適正処理推進に関する検討委員会を受けたもの）」、「③低沸蒸留設備の改造」等について報告いたしました。

各委員から、今後の処理に関する課題について貴重なご意見をいただきました。これらのご意見を踏まえて課題に取り組み、今後とも安全・確実に処理事業を進めてまいります。

◎ 消防訓練の実施について

5月24日、此花消防署のご協力のもと、消防訓練を行いました。今回は西棟ローディング室前室での出火を想定し、対策本部の設置、消火、通報、避難訓練を実施しました。訓練終了後、此花消防署の方から、訓練の講評と今後の取り組みについて等のお話をいただきました。また、訓練には此花警察署も立ち会われました。今回の訓練の結果を次回以降に生かし、今後も定期的に訓練を実施してまいります。



◎ 車載トランス切削中の火災発生事故への対応報告について

3月14日に西棟小型解体室で、抜油・洗浄が終わった車載トランスをフライス盤で切削中にトランス内部より炎が発生し、直ちに小型消火器で消火しました。この火災について、大阪市消防局および此花消防署の指導を受け、トランスの切削部が高温にならない対策として、切削部周辺の温度監視、また、トランス内部及び切削部の酸素濃度を低下させる方策として、切削部へ炭酸ガスの吹きつけなどの再発防止対策を実施しました。

5月28日に此花消防署によりこれらの対策内容について確認が行われました。

◎ 安全教育の実施について

6月19日、当事業所エネルギー管理士による「エネルギー」をテーマとした安全教育を行いました。大阪事業所では処理工程や時間帯によりどのように電気が消費されているのか、また、関西電力で今夏に計画されている計画停電案について等が取り上げられました。

当施設では従来より夏期に定期点検を実施しているため、8月から9月にかけて電力使用量は抑制されますが、可能な範囲で節電協力を行っていきます。



◎ 施設見学の状況について



当施設への見学者は平成24年6月30日現在で8,478名(1,140団体)となっています。

6月1日には、全国主要都市の環境行政担当者26名が熱心に見学されました。

☆大阪PCB廃棄物処理施設見学方法☆

弊社のホームページを参照または総務課へご連絡下さい。

- ・自由見学・西棟1階情報公開ルーム(月～金曜日の午前10時から午後4時まで)
- ・予約見学・西棟1階情報公開ルーム、見学者ホールなど
毎週火、木曜日(午前10時から・午後2時から)

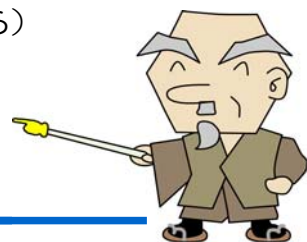
【問い合わせ】 日本環境安全事業(株)大阪事業所
TEL: 06-6468-0575
ホームページ: <http://www.jesconet.co.jp>



洲男(しまお)



舞子(まいこ)



べん蔵(べんぞう)



【発行】 日本環境安全事業株式会社 大阪事業所
総務課/安全対策課/運転管理課 06-6468-0575
営業課(弁天事務所) 06-6575-5575